時事新報

社會の事業に對する報酬の平均

社會の事業は種々樣々なれども今之を政治商賣學問の三つに大別して扨て經世の要道より論ずるときは此三社會の事業に對する報酬をして厚薄一方に偏せしむ可からざるなり今試に學者商人の報酬を薄くして獨り政治家の利益のみを厚くせんか天下の人々其利益の在る所に集まりて政治社會の繁昌すると同時に他の商賣學問社會の衰微を來すのみならず一たび政治上の利益を嘗むるものは香餌珍味其食慾を促がして一朝の政變淡泊に其位地を去らざる可からざるの場合に臨んでも香味の忘れ難き容易に他人をして喙を容れしめず果ては牙を張り爪を顯はして食を爭ふ群犬の互に相呑噬するが如き醜態を呈することなしと云ふ可からず畢竟社會の事業に對する報酬の不平均にして濃厚なる利益を一箇所に集め天下の耳目をして此一箇所に注射せしむるの致す所なれば經世の任に當るものは大に此に注意せざる可からざるなり我輩つらつら東洋の社會を見渡すに事業の報酬政治社會に偏厚にして治者の位に居るものは名聞甚だ高くして威權甚だ重く親戚朋友我れに緣故ある者には公に私に相應の幸福を得せしむ可し、我が意に叶はざる者は之を擯斥すること最も易し御用町人の用路に諂はんとして媚を獻ずる者あれば小吏下役の罵詈を甘んじて奔走する者もあり名譽威福恰かも一身に集まるが如き仕合せなれば當人の得意、他人の羨望偏に政治社會に鍾まりて我れも〱政治家の位地を得んと欲し古語に所謂未だ得ず、之を得ざらんと恐れ、既に得れば之を失はんことを恐るの實相を寫し出して異なるが故に一朝の時運政權授受の必要を感ずるに當りても人情の弱點、動もすれば其位に戀々して圓滑なる機轉を欠く事の極端或は鐵血を以て其授受の落着を決するが如き慘狀を呈するは勢ひの自然なりと云ふの外なし我日本國にて其實際を求むれば昔年舊水戶藩の政變に何黨何連と稱する者が相互に殺戮を逞ふしたるが如きも其一例として視る可きものならん即ち水戶の藩風に政治を重んずること甚だしくして他の人事の平均を外づれ其藩士等が政治の權柄を視ること恰かも連城の璧の如くにして其授受を爭ふたるの罪なり顧みて西洋諸國の有樣を見るに政治商賣學問等の各社會共に夫れ〱の報酬ありて名譽も利益も一方に偏することなく政治社會治者の位地甚だ高貴なるに似たれども其位地の高きと共に社會に對する責任も亦甚だ重くして漫りに威福を爲す可からず左なきだに在野の反對黨は鵜の目鷹の目治者の擧動に注意して瑕瑾取り交ぜ非難攻擊を試みんと待ち構へ居るの有樣なれば微塵だも偏私の沙汰あるを得ず特に俸給も割合に少なくして交際の手廣き人々は其所得に幾倍する程の自費を抛つて體面を維持するなどの始末なれば政治社會は財を得るの地に非ず寧ろ得たる財を抛つて無形の名譽を買ふの地なり、富貴の地に非ず功名の地なり、錢の一點より見れば不利の地なりとて世人も漫りに此社會に入るを好まず恰かも人々自家の撰擇に任ずる程の次第にして特に親む可き位地にあらざれば之に居る人の執念も薄くして去就綽々出入悠々他の商賣學問の社會に對して三分鼎立し以て各自平等の繁昌を保つものゝ如し左れば今東洋諸國の爲め就中我日本國の爲めに謀れば從來政治界に固有なる偏重の弊を絶ち爾今は成る可く政治家の名利を輕くして彼等をして一たび政權を握り又これを失ふたるときに死力を以て之を爭はざる可からずとの執念を消散せしむること肝要なる可し若しも然らざるに於ては今後立憲代議の政を施し朝野の政治家をして自由に新陳交代せしむるの必要を感ずるの日に當りても其運動滑かならずして不祥の極端と云へども或は政權授受の間に容易ならざる不都合なしとも云ふ可からず我輩の中心より憂慮する所のものなり扨て又一國の才能智力は之を社會の各部に分配して均一に其働きを呈せしむると實に經世の要道にして之を政治の一部分にのみ集むるは分配其宜きを得たるものと云ふ可からず國の元氣は政治社會のみに存するものに非ざれば才能智力政治社會に集まりて目覺ましきまでに其向きの繁昌を現はすことあるも其他學問商工業等の社會は無人にして事業十分に發達すること能はざるが如き有樣に陷りたらんには一國の事業上非常の不釣合を生じて結局立國の困難を感ずるにも至るべし畢竟名利報酬を政治社會のみに集むるが故に才能智力も亦隨つて此に輻輳するものなれば經世家は政治上の平和の爲めは將た又國家の事業の發達の爲め政治學問商賣等の各社會をして其事業に對する報酬の平均を保ち厚薄一方に偏せしめざるやう豫め計畫あらんこと實に目下の急務なる可しと信ずるなり

官報

○東京府令第三十七號

自明治十九年度至明治二十年度區部共有金支出追加豫算常備委員會ノ決議ヲ經テ左ノ通定ム

明治廿年七月十一日　東京府知事男爵高崎五六

自明治十九年度至明治二十年度區部共有金支出追加豫算

一金貳萬五百五十四圓十三錢二厘　洲崎海面新地築造費

內譯

金貳萬五百五十四圓十三錢二厘　二十年度支出額

○東京府令第三十八號

明治二十年度區部共有金支出追加豫算常備委員會ノ決議ヲ經テ左ノ通定ム

明治二十年七月十一日　東京府知事男爵高崎五六

明治二十年度區部共有金支出追加豫算

一金一萬三千七百七十三圓八十六錢三厘　鎧橋架換費

一金三千四百三十六圓三十五錢九厘　柳橋架換費

一金七千八百五十七圓八十五錢　大横川浚渫費

合計金二萬五千六十八圓七錢二厘

○東京府達第五十一號　郡區役所　戶長役場

明治十八年(十月)當廳丙第百三十二號達自今廢止ス

明治廿年七月十一日　東京府知事男爵高崎五六

○東京府達第五十一號參照

明治十八年十月丙第百三十二號達

驛遞局官吏特派郵便局集配人志願者又ハ現勤ノ者ヨリ身元證明方願出タルトキハ區戶長ニ於テ事實相違ナキヲ認メ奧印ス可シ此旨相達候事

但爲心得別册集配人採用規則各一部下渡置候事

○辭令

司法次官　三好退藏

大坂及名古屋控訴院管內並新潟各裁判所巡回被仰付

○勲章賜與に付外務大臣の書翰　今般我皇帝陛下へ敬意を表する爲め來京せられたる露西亞太公アレキサンドルミハイロウヰッチ殿下を擁護來航したる露西亞海軍少將コルニロフ氏へ勲章賜與相成りたるに付外務大臣より左の書翰を添へ該勲章を露西亞公使へ御送ありたり

以書翰致啓上候然は我至尊なる君主日本皇帝陛下は太公アレキサンドルミハイロウヰッチ殿下來航の機に方り該殿下に向て深厚友愛の叡慮を表彰せらるゝ爲め該殿下を擁護し專來着したる貴帝國東洋艦隊司令長官海軍少將コルニロフ氏へ旭日大綬章を賜與被遊候旨被仰出候段茲に及御通知候

依て該勲章の裝飾一式勲記及記名を要する領収證差進候間受勲者へ御交附相成候樣及御依賴候

我至尊なる君主斯く貴皇族に對せられ親愛の叡慮を表せられたる儀を御通知申進候儀は本大臣の感喜する所に御坐候敬具

明治二十年七月七日　外務大臣伯爵井上馨

露西亞特命全權公使シエーウヰチ閣下

○東京府下製茶景況　東京府下本年製茶の景況は氣候不順にして一日温暖なれば又寒冷となり爲に發芽の時期を失し之を各年に比すれば凡十餘日後れ漸く萌芽を發せし際即ち四月下旬に降霜に害せられ大に萎縮し爾來再び發生力を挽回せんとするに及び猶は五月四日の降霜にて枯葉を顯す箇所あり然れども同月十日頃より氣候本順に趣きたりと雖も六郡概して平年に比すれば大凡十分の二を減せり其概況は左の如し

一　茶園段別は新開增加せしも本年の如きは赤坂青山地方陸軍省用地のため數町歩を減したるを以て增減なしとす

一　製茶家は一千二十戶、其焙爐數一番芽使用の分四千七百八十五個にして之を客年に比すれば凡三百有餘箇を減せり

一　製茶の品位は漸々製造法を改良し各自進步の情況を呈せり就中玉露製の如き其品位山城產の中等品と比するも或は可ならんか

一　本年一番芽製茶の總額大凡五十五万斤にして之に二番芽を加ふれは合はせて七十餘万斤に至るへし

一　各郡の製造人及焙爐數(區は其郡へ組込)擧れは荏原郡製造家七十三戶にして其焙爐數四百四十四箇、東多摩郡製造家百七十六戶にして其焙爐數七百九十箇、南豐島郡製造家二百三戶にして其焙爐數千二百七十九箇、北豐島郡製造家四百六十六戶にして其焙爐數二千二十八箇、南足立郡製造家十九戶にして其焙爐數は六十九箇、南葛飾郡製造家八十四戶にして焙爐數百七十五箇あり

○王室金剛石賣拂高　佛國に於ては曩に皇族追放の議出づるや從來王室に屬せる金剛石裝飾物を賣却することに決し此程其糶賣を行へり今去る五月二十五日刊行の佛國ル、タンに據るに九回の糶賣を以て結了せる金剛石裝飾物賣上代價は合計七百二十万七千二百五十二法五十參にして殆ど最初評價人の豫定せる價額に達せり而して寶物の最も高價にして買人を得難く且つ史上に由緒あるものは皆保存して之を礦物學校等に陳列する筈なり其中一二を擧れはレジヤンと稱するものは嘗てオルレアン公の購ひたる有名なる王室金剛石の一にして古今無比の尤物なれば其價格は一千二百万乃至一千五百万法のものなり又一の軍刀あり嘗て那破烈翁一世か其鐔を裝飾するため絶美の寶石を撰み從ひて一般寶玉の價格に變動を及ぼせしとあり且つ此軍刀はシヤル丶十世以來各代の諸王非常の事ある時は之を佩用せり而して其價格は二百万法なりと云ふ

○アルサース、ローレーヌの人口　千八百七十一年中佛國より獨國に讓りたる有名のアルサース、ローレーヌに於ては其固有の住民次第に減少する模樣あり今同地の官報に登載せる所に據るに千八百八十五年十二月一日現在の人口は百五十六万四千三百五十五人にして之を千八百八十年同月同日現在の人口に對比するに實に二千三百十五人を減少せり而して右總數の內土着人は百三十六万八千七百七十一人、獨國內地より來住せる者は十五万千七百五十五人、外國人は四万三千八百二十九人にして之を千八百八十年に比するに土人の數は此五年間に四万九千二百五十八人を減し之に反して獨國各地方より來住せる者は三万六千九百五十八人を增せり同官報の言ふ所に依れは土人の減少は他國に移住する者常に增加するに因るや疑なし若し此と同樣の比例を以て移住者の增加するに於ては自今二十箇年半の後には土人は全く其跡を絶つに至るへし又更に溯りて千八百七十五年より千八百八十年に至る五箇年間に土人の減少せる數を見るに實に九千二百五十七人なりし又千八百八十五年十二月一日現在內地來住獨國人十五万千七百五十五人の中にて軍人の資格を有する者四万千三百八十三人ありと云ふ　(本年七月十一日官報)

雜報

○日本力士の名譽　瀧山生報

去る五月廿三日當ニユーヘブン府の運動場に於て豫て有名なる日本力士松田虎吉(本名松田幸次郎)と米人モールドーンの相撲を興行せり前週より既に新聞に公告ありしを以て我輩日本人は最も熱心に其勝負を見物せんと待居たるに當日我輩日本人一同は松田の案內を受け同人の止宿するニユーヘブンハウス(當地第一等のホテル)に於て興行前同人に面會したり偖て其日松田の打扮は英國茶褐色シャの春服を着け時計の金鎖を斜に横へ左の胸間に紐育警察新報の持主フホクス氏が贈りたる金の賞牌を懸けたり是ぞ當國にて Police champion Japanese Wrestler の高名を博したる贈物と知られたり元來松田ハ達者に英語を話し風采恰も米國紳士然たれども日本語は却て上品なりとは評し難し松田曰く私は元來兩國梶之助の弟子にて明治十六年の夏當國に渡航し殆ど四年を過ぎ其間米人某の女と結婚し各地に於て米國流の相撲を興行致し居たれど紐育にては未だ一回も相撲を取りたる事なく多くは西南地方にて興行せり今夕は和米兩流の相撲を取る積りに候へども敵手は肥大多力の人物なるゆゑ勝負は請合はれ申さず併し私は昨今寧ろ日本流よりも米國流が得意となれり云々又曰く師匠兩國(今ハ年寄)より度々歸朝を促し來るゆゑ明年の夏は歸國致し米國流の相撲を興行致す積りに候云々と偖彼是する內最早興行時間となりしゆゑ場所に赴むき其模樣を見るに時巳に午後八時を過ぎ見物人は充滿して大學生徒其半を占め餘は職人體の人物のみ大凡五百名ほど詰め寄せたり蓋し當國の風として何興行に拘はらず婦人は男子に先だち見物に出掛くるの習慣なるに場中一人の貴女を見ざるは演劇講談音樂會等と違ひ當州にては餘り相撲の流行せざるを卜するに足れり松田の敵手米人は名をウイリヤム、モールドーンと稱し骨格逞しき肥大の人物にて當國屈指の力士なるが體量は二百四十封度(一封度は百廿匁餘)ありと云ふ先づ東京の嵐山に一層肉の付きたる位の男と見受けたり松田(當時にては同人をマサダ、ツラキチと云ふ松田虎吉の轉訛したるものならん)は相撲社會の短身にて骨格は彼の幕下の器械に相似たりと雖ども上半身は一層發育したる樣に見受けたり體量は百六十封度丈五尺四寸半(英尺)首の廻り十七寸半(左れば

襟は十七半を用ゆと知
さ十五寸半なり當日第
と聞きぬ苟くも日本流
觴よりて今日一技術とな
せる相撲好きの我輩な
物者の報道を爲し得る
今日見るが始めてなれ
上より臆測して孰れも
ゝのみ但し勝負は敵手
くる事を得たるを勝と
あらず相撲と云はんよ
第一番の勝負は十五分
となる第二番にはキャ
し得る丈け捕捉するの
も制限なしとす此勝負
三番ハ六分間にてモー
にて松田の勝となり以
是より第五番目が眞の
五十弗は誰の手に落る
終に日本流の相撲を取
に突掛け揉合ふ內松田
ルドーンはハリ手を戲
る所と付入て足ク
に松田の手に落ちたる
喝采暫時は鳴も止まざ
チャ合にて恰も柔術の
鼎と扛れば我れ鐵索と
動し變腕地に埋むも
が故に見物の我輩は一
逬らそを覺ねず況んや
るとや終に松田が肥
我輩の喜び知るべく手
日本の相撲と僅か二時
決して之なし然るに松
番を取組むの技倆ある
最も多く頗る達者と云
る相撲と評して可なり
常に嘆息する所は日本
四歲の童子と比敵たる
共に立て耻るもの是な
しく衣服飲食の改良と
物の改良は隨分多事
蹈舞ファンシーボール
相改良は或る學者の說
とも見えず當國杯い生
十年前後の學生はペ
過半の時間を費し重に
し爲めにエール大學
四十封度の體量なり
ト日本人も相撲でも
二人ハ面倒なり一度に
きものありかし彼の
有力の士と召して相撲
きには非ず體育の注
擬強ち相撲術と以て
の餘情終に言の玆に

○スタンレー氏の遠征
マーシーと戰ふて生死
將軍の麾下に屬して
を援けんが爲めスタ
出立し遂に該地に赴
先づエミンの略履歷と
と云へるは埃國の產
が今を距る事殆んど
の醫師となり十二年
せられしが同人の請
支配せるゴルドン將
がゴルドン將軍は同人
て伎倆を展ぶる事を
結して將軍の滿足を
スーダンの地と二分
ゴンドコロの上部と
ゐ至れり其後ゴルドン

女男洋服幷小兒服　時候に適候地質及び附屬品とも輸入相成候間不相變御仕立廉價を以調進可仕候間一層向ハ恰好共入念無比の御愛顧御需用の程率願候
但御報次第御見本持參御用向奉伺候

熱海海水浴工事落成　當温泉場字横磯ハ地形南ニ面シ海水浴屈竟ノ位置ナルヲ以テ曩ニ官許ヲ得當春以來工事着手完全ナル浴場今般落成ス來ル本月十五日開業仕候間避暑御養生ノ

朝顔飾付　本月十五日ヨリ開園
●東京入谷●角長●植金●植物●高野●丸新●入長●横山●開花園●植竹●入又●成田屋●琴齋●上野新坂●鶯溪園